

第4回 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

日 時：令和3年5月27日（木）午後6時30分から午後8時30分まで

場 所：土淵地区活動センター（体育館）

出席者数：土淵地区等住民 30名

報 道：報道2名

司 会：古舘市長公室長

- 1 開 会
- 2 副市長挨拶 柴田副市長
- 3 土淵地域活動推進協議会長挨拶 本宮秀孝会長
- 4 懇 談

発言者	内 容
	資料1 「第4回土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」
市長公室長	<p>資料1 「(1) 土淵地区のまちづくりについて」です。土淵地区からの要望を表に記載しており、「前潟地区への新駅の設置」、「交通対策」として、渋滞緩和・安全確保の観点から都市計画道路等の整備です。それから「上厨川地区の土地区画整理事業の跡地の土地利用」の関係で、まちづくりの観点から土地利用・地域振興の具体化を図っていくことです。</p> <p>(2)は、要望に基づく「まちづくり」への取組についてです。これまでも3回に渡り、このまちづくり懇談会を開催して皆様方から意見を頂戴しています。(2)の点線の枠で囲んだ部分は、「盛岡市都市計画マスタープラン」では土淵地区においては「ふるさとの懐かしさが感じられる賑わいのあるまちづくり」を目標として「次の世代につなぎたい快適な住環境」、②として「活気とふれあいのあるコミュニティづくり」、③として「安全安心で使いやすい交通施設の充実」を方針としているものです。</p> <p>次に「2 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくりメニュー」として、担当部からこの後詳しく説明する内容ですが、「(1) (仮称) 前潟駅の新設」については、②の実施予定のとおり、令和5年の開業を目指して取り組んでいくことです。「(2) 交通対策」です。渋滞の緩和・安全対策ということですが、都市計画道路整備プログラムへの位置付けや、伊通学路の安全確保、ウ (仮称) 北バイパスの整備という内容です。次に「(3) 上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用」の関係ですが、②に記載のとおり、地区計画の策定による総合的な整備を進めること、伊 廃棄物エネルギーの利活用による地域振興ということで、今後の取組の方向性について、担当部から説明を行いますのでよろしくお願いします。</p>

建設部長

資料2「(1) (仮称) 前潟駅の新設」に関して現在の状況等について御説明申し上げます。昨年度(令和2年度)の動きとしては、駅前広場の設計や用地測量及び補償物件の調査を行い、駅舎の設計や用地買収にも着手したところです。令和3年度については、引き続き対象となる用地買収や物件補償をさせていただくとともに、鉄道施設の設計を完了し、工事に着手したいと考えていますが、着手前に設計内容等について改めて地域の皆様へ説明会を開催させていただきたいと考えています。

資料2-2は駅の平面図です。上屋付きのホーム・待合室・トイレ・階段スロープを予定しています。その周辺に薄めの網掛けで着色したところが交通広場になり、駐輪場・タクシー乗り場・自家用車の降車専用の降車場を配置しようと考えています。具体の配置について、現在最終的な調整中ですので、説明会等の際には、お示ししたいと考えています。また、鉄道とバス交通等との交通結節点として必要な整備について、イオンモール株式会社と協定を今年の2月に締結したところであり、今後、イオンモール株式会社と具体的な相談をしながら、検討したいと考えています。

次に、新駅の名称についてですが、これまで「(仮称) 前潟駅」としてきたところですが、JR東日本では市の意見を踏まえた上で、今年度末くらいを目途に新駅の正式名称を決定したいと考えているところです。市に8月くらいを目途に意見を返して欲しいというお話がありました。市としては、仮称としてきた名前ですが、そのまま正式名称として、「前潟駅」とする案を考えているところですが、地域の皆様からも御意見を伺いながら参考とさせていただきたいと考えています。いずれ令和5年の開業を目指して鋭意取り組んでいきたいと考えております。

次に「(2) 交通対策」について、3点について御説明申し上げます。1点目は、「都市計画道路の整備」、資料2-1、右上に「土淵地区位置図」と書いてる資料です。この図の赤色の点線で示したところが都市計画道路として、まだ未整備の区間であり、この内の一部の区間について、現在策定作業を進めている盛岡市都市計画道路整備プログラムがあります。この中で整備を位置付ける作業を進めています。この道路整備プログラムは、計画期間を10年間として、10年ごとに整備優先区間を定めるものですが、市内全域の都市計画道路について、どの路線区間を整備するかを全市的な見地から定めていくものであり、前回のプログラムが令和2年度で終了したことから、今回は令和3年度から12年度までの期間に新規着手する区間等を定めていくものになっています。今回位置付けようとする具体的な区間については、本日はお示しすることはできませんが、6月にパブリックコメントを実施し市民の皆様からの御意見を伺うことにしていますの

	<p>で、その際には御確認いただくことは可能となりますので御了承願いたいと存じます。</p> <p>次に2点目の「通学路の安全確保」ですが、資料2-3の図面を御覧ください。諸葛川の右岸で平内橋から鹿島前橋までの区間の通学路について歩道の整備を進めているものです。全体計画として、延長550m・幅員2mの片側歩道の整備をするものです。令和元年度から事業を進めており、今年度（令和3年度）は、図の右側・北側約250mの区間について、用地の取得と建物等の補償を地権者様にお願いするとともに、南側約300mの区間については、測量調査や建物等調査を実施していきたいと考えています。関係する地権者の方には、ぜひ事業への御協力をお願いしたいと存じます。今後、用地交渉等が順調に進んだ場合には、令和5年度の工事完了を目指していきたいと考えています。</p> <p>最後に3点目の「（仮称）北バイパスの整備」については、資料の2-1にお戻りいただきます。この図面中、真ん中の少し下、矢印付きの太い赤の点線で記載している箇所があります。これが国道46号から北に向かう「（仮称）北バイパス」にしている路線です。こちらは平成26年に、岩手県が策定した盛岡広域都市圏道路網基本計画で、構想路線として位置付けられたものですが、周辺の渋滞解消等に大きな効果が期待されることから、これまでも滝沢市と連携しながら国に整備の要望を行っており、今後においても引き続き粘り強く国に要望を継続していきたいと考えています。</p>
都市整備部長	<p>資料3「上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用」について説明します。</p> <p>「①これまでの経緯」ですが、上厨川地区御存知のとおり国道46号や東北自動車道、盛岡インターチェンジ、こういった交通アクセスに優れた地域であると考えており、盛岡市の土地利用の方向性としても流通業務系の土地利用や、工業系の土地利用として兼ねてより位置付けられている地域です。その後、土地利用の実際として工業系と住居系、工業や住居が混在していた状況にあることで、地権者の方々からまちづくりをしていきたいという声が上がリ、平成17年6月に地権者の方々による上厨川地区土地区画整理組合という組織が設立され、認可をされています。</p> <p>次のページのスライド番号3「②の現状」と書いたところです。こういった流れで、健全で良好な市街地の形成及び企業誘致によって地元の方々の雇用確保を目的として、組合によって土地区画整理事業を進めておりましたが、その後状況の変化もあり事業継続が困難な状況になってしまったことがありました。これを受けて平成28年の10月に「事業を収束して欲し</p>

い」という依頼が組合から市に提出されました。これを受けて平成29年2月に区画整理事業の認可の取消しを行って、その後、組合の債務の清算をする必要があったわけですが、その組合において、令和3年3月に破産手続が終了し、令和3年6月に清算事務が完了する見込みであるのが現状です。

「③今後について」のところで、土淵地区・上厨川地区どうしていかに関しましては、盛岡市の土地利用の考え方としても、インターチェンジ周辺というポテンシャルの非常に高い地域であると考えていますので、そういった特色を活かした土地利用を推進していくのが良いだろうと考えています。具体には流通業務系の土地利用の推進を図ることで、盛岡市や、盛岡都市圏としても中心的な地域ですので、盛岡広域圏の経済活動を活性化していきたいところがあります。また、その土地利用の推進に合わせて環境改善ということで、道路の改良や、そういったインフラの強化も必要と考えています。

次のページ、「④市街化調整区域の土地利用の方針」という部分です。上厨川地区は市街化調整区域に指定されています。基本的には市街化の抑制とありますが、開発が進んでいくことを抑えて、農業であったりそういったものを推進していくのが、広い意味での市街化調整区域となりますが、ここの枠囲いは盛岡市全体の方針ですが、4つ目の「立地ニーズに合った流通工業系の土地利用」というところが、市街化調整区域の中でもそういったポテンシャルの高い上厨川地区、あるいは土淵地区の特徴かと思っていて、この4つ目の点が該当すると考えています。市街化調整区域を土地利用していくには、「地区計画制度の活用」が手法の一つですので、こういった制度の活用が良いのではと思っているところです。

次の「⑤地区計画」についてですが、これが何かと申しますと、地区計画は住民の方々が主体となって作る計画で、建物や道路・公園そういったものに関する地区独自のルールというものです。盛岡市が一方的に決める計画という性質のものではなくて、地域の方々が主体となって作っていくというのが、大きな特徴です。今後実施の有無、そもそもそういったことをやっていくのかという実施の有無だとか、その具体化については地域の方々と話し合いを行いながら、地域の方々と盛岡市で一緒になって検討していくものでして、本日はこういう手法がありますという、御紹介と感じていただければと思います。

最後に7ページ、8ページのスライドは御参考なので、一つ一つは説明しませんが、地区計画の説明を書かせていただいていますので、御参照いただければと思います。

環境部長

資料4「廃棄物エネルギーの利活用による地域振興」の部分について説明をさせていただきます。

お手元の資料4を御覧いただきたいと思います。本日の説明内容は、3点です。

1つ目は、3月24日に開催された、協議会の開催結果の報告。

2つ目は、これからの施設整備のスケジュール。

3つ目は、前回の懇談会での御意見・御質問について、これらについて御説明したいと思いますので、よろしくお願ひします。

2ページを御覧ください。「1 協議会の開催結果」ですが、令和3年3月24日に盛岡広域8市町の首長が出席しまして、県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会が開催されました。整備予定地の選定等の取扱いにつきましては、1つ目「盛岡インターチェンジ付近」をごみ処理広域化に係る新たなごみ処理施設の整備予定地として選定すること。2つ目、引き続き地域住民や関係者に対し、廃棄物エネルギーを利活用した地域振興、まちづくり等を進めていくこと等について丁寧に説明し、意見交換を重ねていくこと。3つ目、新たなごみ処理施設については、令和13年度からの稼働を目指すこと。以上3点について協議されたところです。

次に、「2 住民説明会等の開催状況」についてですが、昨年度までに、土淵地区を対象に行った説明会等についてお示ししています。平成29年度から土淵地域の皆様に参加をいただきながら、説明・話し合いを重ねてきました。推進協を始め、地域の皆様の御協力により説明の機会を設けさせていただきましたことに、心よりお礼を申し上げます。

3ページを御覧いただきたいと思います。「3 整備予定地の選定経過について」ですが、学識経験者や住民代表等で構成する施設整備候補地検討委員会での検討、平成29年5月の候補地4か所の決定、公表などを経て今年3月に盛岡インターチェンジ付近を新施設の整備予定地に選定という経過となったものです。

次に4ページを御覧いただきたいと思います。「4 施設整備スケジュール」です。施設の稼働までの主な工程の実施時期や期間についてです。8ページ、一番最後のページを御覧いただきたいと思います。大き目に図を作っています。令和3年度は、一部事務組合設立の準備を進めるほか、ごみ処理広域化に関し基本的な計画となります、循環型社会形成推進地域計画の策定を行います。次に、「2. 施設整備基本計画の策定」です。令和4年度・令和5年度で行います。施設規模など新たなごみ処理施設の基本的な方向を定めるために策定する計画です。なお、この計画の策定に向けて、今年度は地域の皆様との意見交換の場として、施設整備懇話会の開

催を予定しています。詳細につきましては、後ほど説明します。次に、「5. 環境影響評価」についてです。令和4年度から準備を始め令和7年度までかけて行います。事業の実施に伴って生じる環境への影響について事前に調査・予測・評価するとともに環境保全のための検討を行い、住民などの意見も踏まえた上で、周辺環境の保全への適正な配慮を行うために実施するものです。地域の皆様には環境影響評価の実施状況などについて御説明させていただき、皆様からの御意見をお聞きしながら進めていきます。

次に施設建設についてです。現在建設を見込んでいる日量500トンの施設規模の場合には、建設に4年ほど要することが見込まれることから、令和9年度に建設に着手し令和12年度完成としています。今後におきましても、令和13年度の施設稼働に向けて引き続き地域の皆様にご丁寧に説明し、意見交換を重ねながら施設建設に向けた準備を進めていきたいと存じます。

再度、4ページにお戻りいただきたいと思います。「5 施設整備懇話会（仮称）について」です。この懇話会は、新しいごみ処理施設の整備や廃棄物エネルギー利活用の方針等について、学識経験者の方からの助言をいただきながら、地域の皆様との意見交換を行うことを目的に実施したいと考えています。テーマですが、新施設に求められる役割や廃棄物エネルギー利活用の方向性について意見交換し、検討を行いたいと思います。回数は5回程度実施したいと考えています。新型コロナの感染拡大の状況にもよりますが、可能であれば先進地視察などもできればと考えているところです。懇話会の構成につきましては、学識経験者と地域の皆様の参加を見込んでおりますが、人数などにつきましては、皆様にも御相談しながら検討していきたいと考えております。詳細につきましては、また改めてお知らせしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

5ページを御覧ください。ここからは前回の懇談会での御意見や御質問について、2点ほど回答します。前回は2年前になってしまいうわけですが、改めて回答させていただきたいと思います。「① ごみ処理施設の周辺環境測定で何か問題は生じているのか。」ですが、令和元年度ダイオキシン類環境モニタリング調査結果について、河川のダイオキシン濃度の調査結果についてお知らせします。測定の結果、クリーンセンター周辺の米内川を始め盛岡市内の4河川は、水質・底質ともに同程度であり、いずれも環境基準を下回っております。また、盛岡市上下水道局に確認したところ取水口からの原水、浄水後の水、いずれも水質に異常が生じた例はありませんでしたので、周辺環境測定では特に問題は生じていないものと認識

	<p>しています。</p> <p>次に6ページを御覧ください。「② ぜん息になる原因はどのようなものが挙げられるのか」についてです。ぜん息が起こる要因としては、遺伝子やアトピーなどの個体因子と喫煙やアレルゲンなど環境因子が複雑に絡み合って発症すると言われていたようです。6ページの下の方の表は、これまでもお示ししているものですが、学校保健統計調査からぜん息に罹っている小中学生の割合を盛岡市クリーンセンター周辺と土淵地区、また、盛岡市内、岩手県、全国の区分で令和元年度までの状況をまとめたものになります。調査結果では、施設がぜん息の直接原因となっていると特定するのは難しいものと考えられます。なお、総務省が設置している公害等調整委員会におきましては、焼却施設が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例報告はありません。</p> <p>最後に7ページになります。ごみ処理施設の整備に当たっては、施設整備事業を円滑に進めるために、地域の皆様と行政との信頼を築くことが重要であると考えています。今後も、環境・安全対策や廃棄物エネルギーの利活用等の施設の特徴を活かした地域への貢献について説明した上で、皆様と話し合いを重ね、さまざまな検討を行いながら、皆様に親しんでもらえる施設を目指していきたいと思っておりますので、今後とも御意見や御感想をお寄せいただきたいと思います。</p>
	質疑応答
参加者 A	<p>ごみ処理の件ですが、ごみ処理施設は最初5haぐらいあればと聞いていますが、ほかにまだ余るといえるのか、今のまま置いておくのは非常に危険だと思います。それで、地区計画というのがあると思いますが、それは一緒にやっていただく方向で考えていてよいのでしょうか。</p>
都市整備部長	<p>地区計画をどう定めるかの話と、処理施設をどう定めるか、これは別の話題になりますが、一つの地域ですから、そこを一体的にどう考えるかという議論は当然必要だと考えています。地区計画ということで土地利用していくことになれば、先ほど申し上げたように盛岡市と地域の皆様と一緒に考えていくことになるので、そういう中で議論を進めていければと考えております。</p>
参加者 A	<p>予算の関係はどうか。</p>
都市整備部長	<p>地区計画で定めたものは、盛岡市が事業化するという性質のものではなくて、一般的な話で例えば、こういう住宅にしようとか。あるいは、商業施設をおこうかという地区計画を定めた時に、例えば住宅ではハウスメーカーとか、商業施設であればそういった店舗を構える方とかによって土地利用が進むということも含めての地区計画ですので、地区計画で定めた</p>

	<p>ものを市役所が作るという性質のものではありません。ただその事業主体がどうなるかというのも、どういうものを進めていくかによるので、そこも含めて議論の中で決まっていくものかと思います。</p>
参加者 A	<p>調整区域に入っていることで、他の方から出てくるというのは中々難しいのではないかと思います。ですから市役所として、ある程度住民の声も聴きながら整備していただける方向をお願いしたいと思います。</p>
都市整備部長	<p>おっしゃる通り、地域の方と話し合いながら決めていくものですので、そのとおり進めたいと思います。少し専門的で細かい話になりますが、市街化調整区域のため、基本的には建築とか宅地の開発は制限されていますが、地区計画を定めることにより、その計画に定めた土地利用については推進できますので、そういう意味では、地区計画を定めることで民間の投資のチャンスが出てくるものだというルールとなっております。</p>
参加者 B	<p>先ほど御説明いただきましたけれども、資料4の5ページです。前回の懇談会までの御意見・御質問として、2つあります。この2つだけと限らず、課題はたくさんあったと思っています。説明会が数回もたれてきたが、住民との了解とか説明とか、非常に不十分だということで、これではどうも話が進まない、大変紛糾した会が太田会場であり、次回必ず説明会を持つということで、それこそ前までの懇談会での御意見ということで、それが残っていたはず。必ず懇談会をします。住民の意見を聴くための、あるいは了解を得るための懇談会を持つことにしていたが、今ここで見ると、この2つの項目の説明だけで、ちょっと物足りない。その辺の御確認をお願いします。</p>
環境部長	<p>前回のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会において回答を保留した項目について、回答を載せたということです。</p> <p>今、御質問の中で太田地区というお話があり、太田地区でも確かに説明会はやっております、その際には、次回また説明会をやるとお話、お約束していますので、それについては、別途説明会を行い、その時に保留とか説明が足りなかった部分については、また、説明したいと考えております。今回、載せたのは、あくまでも、第3回の懇談会の際に保留とさせていただいた項目に限定して載せたものです。</p>
参加者 C	<p>新駅についてお聞きしたいのですが、今日の平面図だと北側からのアクセスを全く考えてなく、イオン側からのアクセスだけを考えているような状況に思われるが、今後も含めてどのような形で進めていくかお聞かせいただければと思います。</p>
建設部長	<p>駅の南口だけでなく北口の方のアクセスはどうかというお話ですが、以前の懇談会にも北口の整備、何とかならないのかというお話を頂戴して</p>

	<p>おり、繰り返しになるかもしれませんが、北口の整備は、自由通路、跨線橋といったものの建設を要し、費用もそれなりにかさむことから、まずは駅を造らせていただき、その後、利用状況や周辺の開発動向を見ながら検討すると、答えさせていただいています。同じ話にはなるのですが、自由通路、跨線橋については、その工事費だけではなく、新たに用地買収も必要になってくるのではと考えています。また、その自由通路のみの設置だけでなく、例えばそこに至るまでの道路の拡幅等も必要になる可能性もあると考えています。それで、まずは設計の形で開業させていただき、その後地域の皆様の声を改めて伺いながら、北口については、設置の検討を行うという、段階的な整備の方を行っていきたくと考えておりますので、御了承いただければと存じます。</p>
参加者C	<p>駅完成によって、当然電車が止まることになると、今でも踏切が西側と東側にそれぞれあって、場合によってかなり渋滞しているので、その辺の道路整備も含めてセットで進めていただければ良いと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
市長公室長	<p>御意見として、承りたいと存じます。</p>
参加者D	<p>私たちは、ごみ処理場について反対の立場で今まで活動してきました。盛岡市に対しては、今まで説明会等に参加してきました。これから少子化を迎え、人口が少なくなっていくが、広域でごみ処理場・焼却場を造ることは理解できません。各市町村でこれはやるべきだと思います。人口減少を抱えているときに広域でやる、例えば葛巻町から車で1時間半かけてごみを運んでくる。私から見れば、こんな効率の悪いことはないと思います。せめて県北地方に1か所、それから盛岡、それから矢巾・紫波に造ってもらえれば良いと思います。上厨川にごみ処理場を造ることは考え直していただきたいと思います。</p> <p>もう1点、この地域は農村地域であります。前潟地域に限っていうと、前潟4丁目そして1丁目は、区画整理によってこのように賑やかになっていますが、反対に国道46号より南側は、いまだに調整区域です。何とかこの調整区域を見直ししていただきたいと思います。農地はそんなありませんが、やはり効率良い利用を考えた場合に調整区域では何もできません。この辺を考え直していただきたいと思います。</p>
環境部長	<p>人口も減少する中で、ごみ処理施設を造ることについてですが、現在、広域の8市町には6つの焼却施設がございます。これらに共通する課題というのが、施設の老朽化です。今後、人口減少・少子高齢化になっていく場合に、更に効率的なごみ処理をやっていかなければいけないと思います。このごみ処理施設はかなりお金がかかるものですので、施設の建設に</p>

	<p>当たってもこの6施設をそのまま更新するよりも、1か所にまとめて造る方が、これまでのコスト計算などからも効率的であるということから、この地区に広域8市町のごみ処理施設を造りまして、それで、これからの人口減少にも対応したいと考えているところを御理解いただきたいと思えます。よろしくをお願いします。</p>
都市整備部長	<p>市街化調整区域の関連ですが、触れていただいたとおり人口が減っている時代ですので、まちを拡大していくという考え方は、とってなくて、基本的にはコンパクトなまちを目指していくべきと考えています。調整区域を市街化区域に編入することについては、慎重な態度であるというのが基本的なところですが、人口が減っている中で、そういった地域の活力とか地域の良いところを、いかに維持あるいは伸ばしていくかということも同時に大きなテーマだと捉えています。</p> <p>今、パブリックコメントをしています。都市計画マスタープランを、10年の定期的な見直しをやっている中で、市街化調整区域をどうしていくかというのは大きな柱の一つに掲げていまして、基本的には都市整備部資料にある「引き続き市街化の抑制」や「農村部の資源の有効活用」を基本的な方針としていますが、その地域性、その地域にとって良い取組、地域の方がこういうふうにしたいとか、そういった取組については、市街化調整区域であっても応援していけるような、在り方が良いかなと思っています。</p> <p>上厨川で地区計画をというのも、そういった大きな文脈の中に入るものと思っていますが、いずれにしても、まちを広げていく時代では無いという大前提の基に、市街化調整区域であっても地域のコミュニティーの維持や、良いところを伸ばしていく、これを改めてやっていかなければならない時代だと思っています。個別、具体のケースの中で、ぜひ市と地域の皆様で一緒になって考えていきたいと思っています。</p>
参加者D	見直しは5年に1度ですか。10年ですか。
都市整備部長	<p>都市計画マスタープランの見直しは、10年に1度の見直しです。計画自体の目標年次が20年となっております。その中間として10年毎に見直すことで、10年ぶりの改訂を現在、進めております。少し詳しく話すと、今は全体の方針、全体構想を案とし、その後、地域別の構想を今年度から見直しをしていきます。全体構想はおおむね固まってきており、地域別をこれからというのが現在の見直しの検討状況です。</p>
参加者D	<p>前潟の杉河原地区に住んでいます。狭い土地のところに20世帯くらいの住宅があります。今住んでいる方々に小学生がおり、土淵の学校に通っているのですが、やはり10年、20年毎に住宅開発をやっていかないと、今長</p>

	<p>橋町が結構、生徒も多く土淵小学校1学年2組ありますけれども、これが10年、20年経ってくると、やがては昔のように、1学年1組になる恐れが出ます。やはり、住宅開発を今後進めていかないと、ますます、この土淵地域が衰退していくと思います。その辺をなんとかお願いしたいと思いません。あくまでも私の個人的な意見です。</p>
都市整備部長	<p>特に今、市全体、全国的にも少子化の流れはありますので、そういう中で、小学校区で子供達が減っているのをどうするのが非常に大きなテーマだと思っています。先ほどから申し上げているとおり、人口が減っているのが全体的な傾向で、そういう大きな流れの中で、住宅を開発すれば必ず人が来るという時代でもなくなってきたというのも、現実としてあるというのが実際の傾向であります。新規の住宅開発もそうですが、一方で空き家が増えている。盛岡市も全国的にも大きなテーマですので、今後は新しい住宅を開発していくのも見据えつつも、今ある資源、空き家とかは、見ようによっては資源だと思いますが、そういったものの活用をどうしていくかというのもテーマになると思っていますので、住宅開発だけではない方法についても考えていかなければならないと思います。すごく難しいテーマですので正解があれば私も知りたいのですが、いずれにせよ地域毎に考えていく必要があると思っています。問題意識としては、非常に大きなテーマだと捉えております。</p>
参加者D	<p>最後にもう1点。上厨川の焼却場予定地決定したことについて、根拠は何ですか。盛岡インターを抱えており、盛岡の西の玄関口だと思っています。また近くにイオンもあります。その近くにごみ焼却場とは考えていませんでした。根拠を教えてください。</p>
環境部長	<p>用地については、盛岡市内何百箇所から、絞り込みをかけ、最終的に4か所を公表し、その中から今回1か所、こちらになったわけですが、最終的にこちらに決めたのは、整備の確実性や整備運営上の諸条件とか、いろいろな説明をしていく中で、皆様方からの御理解が進んだことを踏まえて、総合的に協議会で決めたということになっています。</p>
参加者D	<p>前に八幡平の市長が場所を決定する前に組合設立後の負担金を決めることが先決だと言っていました。もう負担金は決まっているのでしょうか。</p>
環境部長	<p>負担金については、今、8市町で検討して一部事務組合をつくる準備をしており、その中で決めていきたいと考えているところです。</p>
参加者D	<p>まだ決まっていないということですね。八幡平の市長がおっしゃったことにはなっていないと理解していいですね。</p>
環境部長	<p>まだ決まってはいませんが、進め方の手順については、8市町で協議しながら進めていますので、市長もその手順については御理解をいただ</p>

	<p>いていると思っております。</p>
参加者B	<p>3月28日の8市町村の首長さんの会議で、最終的に決まったということはそのとおりですが、コロナの災難でいろんな活動、集まりができない状況で、説明会も紛糾し、住民の理解を十分に得られない経過の中で、8市町村の首長会議、推進協では住民の理解が進んだという表現もし、住民の理解が進んでいるので決定したいということも理由の一つになったと言われていますが、何も説明会も開いていないし、なんで住民の理解が進んだと判断できるのだとそういう気持ちになります。どういところで、その判断をしたと説明しますか。</p>
環境部長	<p>コロナの関係もあり、説明会は開催を控えておりました。そういう中でも、お知らせをしていかなければいけないことがありまして、昨年度は、6月に地域の皆様方にチラシをお配りして周知を図ったり、11月にこれまで説明会等で御質問いただいたことや、説明してきた内容の核となるポイントを分かりやすく記載した冊子を作って、地域においては全戸配布をし、市内の皆様には回覧しましたし、8市町村の皆様にも同じ冊子を回覧という形で、送付して皆さんに御理解をいただくよう活動してきた中で、皆様にも理解いただいたと判断したものと考えています。</p>
参加者B	<p>答弁を聞いても、住民の理解が十分進んだと解釈するには、無理があると受け取りました。</p> <p>それから、推進協から要請の文書が出たとお聞きします。盛岡市にとっては、コロナで説明会も開けない。そういう時に地元から要請文書が出たことは、根拠になる。非常に心強い資料ができたことにもなります。今、私達がいろいろなことを考えながら、どうしてこう進んだのかという状況を考えながら、こうかなという考えも付け加えて質問していますが、その流れがあまりにも出来過ぎている。つじつまがぴったり合いすぎていると、出来過ぎではないかと。という気持ちもあるわけですが。その辺について、はっきりと関係を説明していただければ助かります。</p>
土淵地域活動推進協議会A	<p>要望書が出されたという発言がありましたが、そういうことは一切ありません。要望書は出しておりません。</p>
土淵地域活動推進協議会副会長	<p>推進協としては、反対が一部の人でも地域分断にはならないように、慎重に進めてきました。正直な話、反対より賛成の方が多くはずです。特に土淵におきましては、いろんな機会にお話ししています。もちろん反対している人もいると思いますが、ほとんどが賛成で早く決めてくださいと。地域の土地を持つる方々も土淵は全員賛成です。早くなんとか決めてくださいと。そういうことで進めてもらったので、賛成でもだまっていると反対と等しいと思います。ですから、もう少し声上げて推進協も進めてい</p>

	<p>けば良かったと思いますが、やっぱり反対している人達も立派な方々なので、分断にならないようにと今まで進めてきました。</p> <p>そういうことですので、あまりにも反対派の方があちこちに行って、松園の新聞も出ています。あれ見せてもらってびっくりしました。これは風評被害です。民主主義ではないですよ。日本は民主主義ですから、賛成が多いですから、反対の方が大騒ぎして、おかしくないですか。</p> <p>しかも、施設を見にいきましょうと誘っても、見にも行かない。私達は今まで勉強を積み重ねて知識を大きくしてきて今があります。最初は半信半疑でした。今は立派にコミュニティセンターとして造って、お風呂に入って長生きしたいと思います。完成してもらわないと困ります。これから、みんな仲良くまちづくりをしていくと思いますので、決まったからには男らしく、よろしくをお願いします。</p>
参加者B	<p>要するに事実を質問しただけの話です。こういうことも考えるけれども、こういうことではないだろうなという心配しながら質問をしただけでございます。</p>
土淵地域活動推進協議会副会長	<p>なぜ、施設を見に行かないんですか。それで勉強していましたか。反対の方の資料は、いつまでも同じ反対内容を箇条書きにしているだけで、例えば参加者Bは、なぜこの前も「行きましょう」と言ったとき、なぜ施設を見に行かないで反対ばかりしているのか。そこが私には疑問でしょうがないです。</p>
参加者E	<p>今日のように雨が降って、以前、前潟まで雫石川が氾濫して、私は定時制に通っていました。前潟方面の人は早く帰りなさいと学校の方から連絡があり帰ってきたら、膝ぐらいまで水がきたんです。建設予定地は、雫石川のどっち側になるかです。浸水した場合にごみ焼却炉の安全性とか、陸前高田市のように何mか盛り土して高くして、浸水に耐えられるようになるのかその辺が全然、分からない。そこが候補地として推進協が住民の意思が熟成されたとか。そう決まったというお話でしたが、リスク・危険性、稼働している時にどんな焼却炉でごみを燃やしているのか、それも分からないです。全然イメージが湧かなく。その空中に焼却炉から漏れ出た重金属とかその他の物質が飛散するというのはイメージ分かります。危険というか自然災害が起きた場合の安全性というか、どの程度まで考えられるか。福島原発事故みたいになるのかそこらへんも分からないのです。私はそんなことを懸念しております。</p>
環境部長	<p>皆さんの御家庭に配布されていると思いますが、河川の氾濫のハザードマップというのがあります。今想定している区域については、浸水の想定区域には入っていないと確認しております。今想定される雨量では浸水す</p>

	<p>るということはないと考えています。</p> <p>また、仮にそうなった時でも大丈夫なように、今後、施設建設の計画を立てていく上で、例えば嵩上げが必要という場合には、そういうことも講じて、嵩上げなどしながら建設を進めなければならないと、考えています。具体的な話にはまだならないですが、今後、施設建設の中身などを検討する際には、そういうことを忘れないで取り組んでいきたいと考えています。</p>
参加者E	<p>他のごみの焼却炉の場合に、危険性に備えて避難訓練などもしているのでしょうか。もしもの時のために、ハザードマップで岩手山噴火のことは、周知はされていますが、あまり先のことすぎてお答えできないかもしれませんが。</p>
環境部長	<p>そういった非常時に向けた訓練なども当然、必要と思います。建設した場合には必要に応じて、噴火とか想定しているところまで噴火の影響はないと考えていますが、考えられる非常事態に対しての訓練は、どこの施設でもやっていることと思いますので、造った場合には取り組んでいかなければならないと思います。</p>
参加者F	<p>地区計画の策定スケジュールについて、今分かる範囲で結構なので説明いただきたいと思います。</p>
都市整備部長	<p>現時点で地区計画をこういうスケジュールで作ると決めているわけではありませんし、そもそも地区計画というやり方でやっていくかというのも、地域の方と話し合っ決めていくものと思っております。今日説明のとおり、区画整理組合が債務の清算事務が6月に終了予定ということで、次の段階にいけるかなと思っておりますので、早い段階で地域の方々と話し合いなど進めていきたいと思っております。その中でスケジュールなども具体化していきたいと思っております。現時点でいつまでという目標自体までは立てていません。</p>
参加者F	<p>ごみ処理施設の建設の問題もあると思いますし、今いろんな噂があって、工業系・流通系の団地等が動いているようなこともあるので、このまま行けばこの地区が虫食い状態になると思うので、早いところ地区計画の策定に移っていただき、総合的な計画を進めていただければと思います。</p>
都市整備部長	<p>ありがとうございます。しっかりと計画的に土地利用がなされることを我々も目指していきたいと思っておりますので、御意見としてそのように進めていきたいと思っております。</p>
参加者G	<p>今地区計画を進める上でどういうのが希望なのかとか、地域に全戸アンケートを取るような形で、みんなに分かって、みんながこれが欲しい、子供達の施設が必要とか、温泉の話もあるかもしれません。それで住民がみ</p>

	<p>んなで理解してここを盛り上げていくという方法でないと、中々まとまらないと思います。地域の役員もそうですが、市の方にもよろしく願います。</p>
都市整備部長	<p>ありがとうございます。地区計画、住民の方々が主体となって作るルールですので、制度の仕組みとしても地域の意見を受けて、地域の方々が合意をして進めていくという制度になっております。おっしゃっていただいたとおり、住民の方が地域をどうしていきたいか話し合いながら作っていくべきと思っていますので、意見交換の場は何度も設けることになると思いますし、また、必要に応じて今御提案の全戸アンケートも必要と思えばそういう手段も考えられますし、具体的にどう進めるかはこれからですが、しっかり丁寧にやり取りをしながら作っていくものと思っていますので、そのように進めたいと思います。</p>
土淵地域活動推進協議会会長	<p>地区計画ですが、総会でも決めていただきましたが、「上厨川土地区画整理事業跡地等利用を考える検討委員会（仮称）」を作ることにしました。市から説明がありましたように、地区計画は我々住民が起案をして、それを市と協議して決めます。最初の立ち上げは、地区がやらなければならないということです。これは私も全国の資料を取り寄せて市と協議して住民の皆さんに提供しましたが、特にも私たちが一番求めているのは、地域がこの事業によって分断されないことです。分断されては、何にもなりません。そうしないために、様々な地権者の方がいらっしゃいますので、そういった方々も入っていただいて、まずは検討会を作る。その中で、全国的に見て完成までに約2年間かかると言われています。早いうちに立ち上げて、これから住民の皆さんと色々な意見交換をしながら、そしてこの会長以下こういったメンバーも出しておりますので、皆さんの御意見をいただき、具体的にこれからどういった構想にするのか。今、27haあるのですが、ごみ焼却場の部分は5haぐらい。それ以外は、地域で「これを造ってください」と主張しなければ、ほんとに虫食いになってしまう。私たちはこの27haの地権者の皆さん、この方々一人も欠けないで、全部一体のものとしてやっていく必要があります。そのためには、何を造ったら皆さんから理解できるのかと。先ほどお話ありましたけども、流通団地ということでインターチェンジが近いので、そこに拠点を設けようと企業が動き始めています。そういうことが進みますと地区が虫食い状態になります。こういうことも含めて地区計画の中で我々と一緒に協議をしながら、市と開発を考えていく。すでに私たちの方にも子供達の野球場、今河川敷にあります。そういうものも造って欲しいとか。あるいは、ドーム型の通年使えるような施設というのを造れば地域の方も良いし、盛岡市民全体、ある</p>

	<p>いは広域の方々も良いのではないか。そういったものを含めて意見を出しながら、市にも提案していく。そういう検討委員会を立ち上げることで、総会ではこれから進むと確認しました。御意見ありましたけどもそういったものを含めて、検討委員会の中で協議していきます。そして、何回も協議を重ねながら住民が納得する地区計画を作っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
参加者H	<p>今話が出ている場所は、原野になっています。前に火災が発生しています。それから病害虫、狸、それからニホンジカが疾走しているところです。</p> <p>また、盛岡市内ですが、まだ下水道が整備されておられません。これも検討していただきたいと思います。高速から北側にきたところまで下水道本管はありますので、市でその気になればすぐに布設していただけておられます。</p> <p>火災が発生したり、病害虫が発生する心配もありますので、この辺を計画とは別に早めに検討していただきたいと思います。</p> <p>それから、道路が昔の農道のままです。火災とか緊急事態が発生した場合に緊急車両等が進入するのも非常に困難な状況です。その辺も踏まえて、地区計画を早めに策定して欲しいですし、またその前に環境整備の方をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
都市整備部長	<p>前段の環境整備について、例えば上下水道の関係ですと部署も違いますので、担当部の方に意見として伝えていきたいと思います。後段の地区計画は、地域の将来像をどうするかという時に、現状で困っていることとか、どんな課題があるかというのが、まず出発点になると思いますので、そういった課題を皆さんで挙げながら将来像を考えていくのが良いと思いますので、その中で強い検討材料になると思います。地区計画は少し喫緊の課題という意味では、先の話かもしれませんが、先ほどの環境整備の前段の部分については、市に持ち帰りたいと思います。</p>
参加者H	<p>この土地の開発について、民間の企業との協力など計画等はないのでしょうか。</p>
都市整備部長	<p>広い意味でのまちづくりという観点でお答えします。特定の企業に何か委託することは考えていません。地区計画を定めたり、土地利用の方向性が定まってきた時に、例えば流通系という形で定めた時に、その流通のビジネスを展開しようという企業が現れれば望ましいことと思っています。ただ、「この企業」「この会社」のような協力の仕方は特に考えていません。方向性を示して、ビジネスチャンスを広げることで開発する人が現れやすいような環境整備するのが大事なのかと思っています。</p>

参加者 B	<p>先ほどすばらしい要望が出たと思います。参加者Gさんから、例えばアンケートを取るなど住民の声をまとめるようにしなければ大変ではないかという発言がありました。私達が望んでいるのは、そのような住民の声を大事にして取り上げていくという姿勢です。強く言っておきますが、そういう住民一人一人の声を大事にする政策を進めるということです。今後もよろしくお願ひします。次の説明会には、そういうことを考慮した説明会が持たれることを期待します。</p> <p>それから、要請の文書は8つの首長さんに資料として渡っているのですか。そして、どの首長さんもそれは理解したということで、この間の決定になったということですか。</p>
環境部長	<p>推進協の方から出していただきました、いわゆる態度表明ですが、中身について8市町の首長さんに全て説明をして御理解をいただいております。</p>
参加者 I	<p>今日はいろいろ懇談会ありがとうございました。自分たちの住んでる地域に駅ができる、あるいは、道路が整備される。住んでいるところの魅力が高まっていくというお話もありました。一方では、今後将来に向けての少子高齢化・人口減少などを踏まえたごみ焼却炉の在り方の中で、新たな役割も担って欲しいというお話もあったと思っています。新しいことが出ると、やっぱり正直不安なことや心配なことがいっぱいあります。ですので、先ほど推進協会長さんが言ったように、ハード整備と併せて、地域が分断していくのではなく、地域の一人一人が逆に寄り添い助け合っていくようなまちづくりができて初めて、「いいまちだなあ」となっていくと思っています。今日のように、まちとしてはこんなことを考えていると、こういうこともあるけれど、逆にこういうことも協力・理解して欲しいということを重ねながら、将来のごみ焼却施設については10年先ですので、10年先の子供達自分たちの住んでいるまちに誇りを持てるように、どう進めていくのか、不安な事を解消したり、疑問を分かりやすく教えていただいたり、そういうことをしっかり積み重ねながら自分たちのまち、良いところですよというまちづくりにしていければ良いのかなと思います。きれいな事のように聞こえるかもしれませんが、そういったことに向かって、みんな意見を出し合ったり、相談して、自分たちで決めてくというところが大事かなと思ひながら聞かせていただきました。それから、このまちづくり懇談会という機会もいただきながら、いろいろな話ができる場があればまた違ってくるかなと思います。今日は、ありがとうございました。</p>
市長公室長	<p>ありがとうございました。まちづくりを進めていく上では、いろいろなやりとりが、具体化すればするほど必要になってきますので、いろいろな</p>

	<p>場を設けて、今おっしゃったような一人一人の意見を踏まえて進めていかなければならないものと思います。この懇談会もそうですし、それ以外のものが必要であればそういった対応も出てくるものと思いますので、御意見の通り進めていければと思います。よろしくお願いします。</p>
参加者 I	<p>こちらこそよろしくお願いします。いい話だけにはならないかもしれないですけど、でも話し合っていくことで何か見出していけることが、あるいは、見出していかないといけないと思いますので、よろしくお願いします。</p>
土淵地域活動推進協議会 A	<p>私の地区に県道16号、分かれに通じる盛岡環状線、国道46号があります。先月の4月25日。92歳になるおばあさんが田んぼの帰り、自宅にあと200mのところ、横断歩道を自転車で渡ってる最中に74歳の方の運転する軽トラックにはねられて即死でございました。後日、西警察署の方から現場検証で地域の声も聴きたいということで、5月13日に私も呼ばれまして、盛岡市からは市民生活課、県の方からは振興局、そして交通安全協会、今後この事故現場でどのようにしていけばいいのかという意見を求められました。その時に振興局からは、「この県道は近い将来改修する予定はあります」と意見が述べられました。現場は不変則な市道が交わっているところです。それでお願いですが、県道に交わる市道を何とか使いやすいうように、渡りやすい交差点にして欲しいという要望です。どうか検討してくださいよう県とかけあってくださいようお願いします。</p>
建設部長	<p>御要望ということですが、県道ということで、県でも改良事業があるというお話ですので、内容がどういうものかを確認しながら、市で何かできることがあるか検討させていただきたいと思います。</p>
参加者 J	<p>話題になっている地区の地権者です。ようやく前の区画整理組合の借金、整理・清算が終わりまして、市長に今月中に資料を提出するところです。それから、はじめてまちづくりできるのかなど。今までに3回、今日で4回の懇談会に参加してきましたけれども、私は一番最初の時から賛成また、要望を出した者です。こんなに時間かかって、ようやくまちづくりが進むと思っているところです。地権者である我々上厨川地区のみんなが不便なところについて要望を出しながら、早めに進めてもらいたい。先ほど参加者Hさんからもありましたけれども、トイレは汲み取りです。問題は生活排水。毎日の台所の水と風呂の水は全部垂れ流しです。今は土地改良区との契約も切れていますので、用水路に水もきていません。これは市でも分かっているはずですが、その辺の開発を考えても、このまちづくりは早く進めて欲しいです。</p> <p>ついては、ごみ処理施設を持ってくるにしても、物流を造るにしてもそ</p>

	<p>ういうものを持ってきたときに、交通の便等を考える時は広域で考えなければならぬと思います。今回、8市町で行っているわけですから、もしここに駅ができて、皆さんごみと言いますが、ごみ処理施設、私から言わせれば火力発電所です。こういうものをうまく利用して、このまちづくりにプラスアルファしてもらいたい。考える時に並行してやっていかななくてはならないと思います。上厨川のこの地区だけを考えると、この学区、推進協のこの地域だけを考えてまちづくりをするのではなくて、盛岡市全体として考える、また、8市町ですから岩手県の中心ということで考えていかないとだめだと思います。でない途中であの道路こう造れば良かった、あそこにこういうもの造れば良かったとなります。最初の時に前潟の住民Aさんから、先ほどの青山町から前潟への道路、計画しているわけですが、あれはどうなったのかという質問もありました。今回こういったごみ処理施設とか駅ができた時に、渋滞のことを考えれば、道路の新設は考えなくてはならないと思います。それを踏まえて上厨川地区のまちづくり進めていかなければならないのですが、トータルで考えないと後でお金がかかると思います。今回のごみ処理施設は、750億円と言われていています。ですから相当いろんな施設、安全面に関しても市が利用する方法あると思います。それに関しても、僕ら今127人の地権者がいて、そこで生活しているのは12軒だけです。その中の私は一人です。地権者が127人もいて住んでいるのはたった12軒です。この30年間に苦勞してきたかということです。前の区画整理組合の理事の人や、準備委員の人たちが一生懸命やってきたのは分かります。けれども1億5千万の借金作ってそれが最後に13億円になって、13億円の借金を今回、返しました。そういう中で反対と言っている暇がないのです。市はもっと積極的に動いて欲しい。ですから今回、750億円と言っていますが1,000億円以上の計画になると思います。その辺の考えで駅を含めて、道路などを造ってもらいたい。そういったまちづくりの地域からいろんなことを出して欲しいと都市整備部からありましたけれども、もう一回、地域を回って意見を聴いてください。さっきのアンケートを取るのも大事なことですけど、これは、推進協だけにまかせるのではなく、市の皆さんも少し足を運んで聴いて欲しいです。とにかく、上厨川地区はみんな賛成です。反対しているのは前潟の一部の人達です。あと、太田地区です。大変、迷惑しています。</p>
土淵地域活動推進協議会 B	<p>皆さんから貴重な御意見をいただきましたが、今のような話だと、先ほど参加者Iさんでしたか、これからのことを考えていかなければならないと思います。ですから、先ほどからある程度悲観的な参加者Bさん・Dさん2人ですね。こちらの方たちは今後、例えばアンケートだと、私ら</p>

	<p>の検討委員会ですか、こういった部分で立ち上げたときに入ってもらえますか。一緒に考えていきませんか。そういう手法を取らないと、この地域はますます遅れます。特に私ら上厨川地区の場合は、市街化調整区域で高速から東側は非常に開発が進んでいますが、西側になりますと、篠木地区はもう住宅化されています。私らの上厨川地区だけが、向こうから車が見えると待避してないと通れないような、そんな道路の状況です。しかも、今まで荒れ放題の場所は、熊とか猪とか、あるいは鹿が出る状況です。この機会にこの大きな事業をなんとか実現させていただいてふれあいゾーンの部分には、もっと先端的なものを考えながら、みんなで一緒になってこの地域を考えて行きませんか。参加者B・Dさんどうでしょう。私らも内々で同じ地域に住んでいて、背中合わせでいがみ合うという状況ではまずいと思います。やっぱりみんながお互いに話し合いながら納得の上で進めていきませんか。そうすると今後の50年、100年の子供達に良いものを残せていくのではないのでしょうか。そういった考え方でぜひ協力していただきたいと思います。</p>
<p>市長公室長</p>	<p>ありがとうございました。今、推進協Bさんの方からお話ありましたけれども、積極的に早く市の方で強く関わってというお話でした。いずれ皆さんのまちづくりへの期待というものを良い方向に向かうように、皆さんと協議していければという思いで今日も懇談会を進めておりますので、よろしく願いできればと思います。</p>

—終 了—